



平成 19年 9月 25日

各 位

会社名 : 株式会社 井 筒 屋
 代表者名 : 代表取締役 江本 幸二
 (コード番号 8 2 6 0 東証第 1部 福証)
 問合せ先 : 経理部ゼネラルマネージャー
 白石 亮
 TEL (093) 522 - 3414

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向および業務の遂行過程において発生した特別損失の計上に伴い、平成19年4月23日の決算発表時にお知らせいたしました平成20年2月期にかかる業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生とその理由

①商品券の回収損失にかかる引当金繰入額の計上

当社グループにおきましては、商品券にかかる債務履行の可能性を考慮し、一定の期間が経過した場合には負債計上を中止（利益計上）する会計処理を行ってまいりました。

このたび、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会監査・保証実務委員会報告第42号 平成19年4月13日）が改正され、平成19年4月1日以前に開始する事業年度につきましても同取扱いを適用できることとなったことに伴い、当事業年度から将来回収時に発生する損失に備えるため、過去の実績に基づく将来回収見込額を引当金に計上することといたしました。

これにより、過年度相当額446百万円の特別損失（商品券回収損失引当金繰入額）が発生いたします。

②貸倒引当金繰入額の計上

当社連結子会社でスポーツ施設の運営を行っております株式会社エッグは、本日開催の同社取締役会におきまして、事業所の賃貸借契約の満了（平成22年9月）を期に、賃貸借契約の更新を行わない旨の方針を決定いたしました。

これにより、同社の保有する賃貸借契約に基づく債権の一部が回収不能となる可能性が生じたため、その見積額269百万円を特別損失（貸倒引当金繰入額）として計上いたします。

2. 20年 2月期中間連結業績予想数値の修正（平成 19年 3月 1日 ～ 平成 19年 8月 31日）

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	52,000	1,200	800	3,800
今回修正予想(B)	50,400	790	300	2,500
増減額(B-A)	△ 1,600	△ 410	△ 500	△ 1,300
増減率	△ 3.1	△ 34.2	△ 62.5	△ 34.2
前期(平成19年 2月中間期)実績	54,660	1,024	487	△ 963

3. 20年 2月期中間業績予想数値の修正（平成 19年 3月 1日 ～ 平成 19年 8月 31日）
（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	41,700	1,100	500	3,500
今回修正予想(B)	40,537	687	120	2,430
増減額(B-A)	△ 1,163	△ 413	△ 380	△ 1,070
増減率	△ 2.8	△ 37.5	△ 76.0	△ 30.6
前期(平成19年 2月中間期)実績	41,594	1,066	445	△ 1,605

4. 20年 2月期連結業績予想数値の修正（平成 19年 3月 1日 ～ 平成 20年 2月 29日）
（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	104,000	2,800	2,000	4,800
今回修正予想(B)	101,500	2,100	1,200	3,200
増減額(B-A)	△ 2,500	△ 700	△ 800	△ 1,600
増減率	△ 2.4	△ 25.0	△ 40.0	△ 33.3
前期(平成19年 2月期)実績	112,364	2,456	1,603	△ 307

（参考） 1株当たり予想当期純利益（通期） 27円90銭

5. 20年 2月期通期業績予想数値の修正（平成 19年 3月 1日 ～ 平成 20年 2月 29日）
（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	85,500	2,500	1,400	4,400
今回修正予想(B)	83,500	1,900	800	3,100
増減額(B-A)	△ 2,000	△ 600	△ 600	△ 1,300
増減率	△ 2.3	△ 24.0	△ 42.9	△ 29.5
前期(平成19年 2月期)実績	84,236	2,364	1,228	△ 1,088

（参考） 1株当たり予想当期純利益（通期） 27円3銭

6. 業績修正の理由

【個別】

中間期につきましては、夏物衣料の不振等により、売上高は40,537百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は687百万円（前年同期比35.6%減）と前年実績を下回ったことに加え、特別損失の計上（特別損失につきましては上記1に記載のとおりであります）に伴い、中間純利益は2,430百万円となる見込みであります。

なお、通期業績予想につきましては、中間期の実績をもとに予想数値を修正しております。

【連結】

中間連結業績予想数値の修正は、主に当社個別決算の影響によるものであり、中間純利益は、2,500百万円となる見込みであります。

なお、通期連結業績予想につきましては、個別の通期業績予想と同様、中間期の実績をもとに予想数値を修正しております。

以上